

# FIVE VALUE ASSET

## Monthly Newsletter

### 5バリュー通信 Vol.4

Date of issue: 2025.2.17

平素よりお世話になっております。5バリューアセットでございます。今月もマンスリーレターとして5バリュー通信をお届けいたします。マーケットニュースのご案内の他に、時事に関するコラムなどを月に1回お届けいたします。お楽しみいただけますと幸いです。

#### Interview メンバーの言葉



ジュニア・マーケティング&  
プロダクト・オフィサー  
ロペス・ペニエル

私はメキシコのBanking and Commercial Collegeで金融と銀行学を専攻し、その後、最先端の分析手法を習得するため、人工知能・機械学習・プログラミングを専門としたデータサイエンスを学びました。この経験を活かして、2023年3月に5バリューアセットに入社以来、外国債券の分析を通じて、お客さまやフィナンシャル・アドバイザーのお役にたてるよう努めてきました。

ところで、私の名前であるペニエルについて少しご紹介させてください。私の名前は祖母が付けてくれたのですが、これは旧約聖書に由来する名前です。もともとヘブライ語で「神の顔」を意味し、神に向き合い、神の存在の中で生き、神の顔を映すという意味を持っています。

私にとって、この名前は、誠実さ、謙虚さ、目的を持って生きることの大事さや、前向きな気持ちと献身的な姿勢で仕事に取り組むことの大切さを思い起こさせてくれます。この価値観はまさに5バリューアセットの考え方と同じであり、皆で協力し、お客さまにご満足いただけるサービスをご提供していきたいと思っています。

#### Topics 今月のトピックス



2 February 2025

- Offsite Seminar
- World of Interest Rate
- Tokyo Office



- オフサイトセミナー
- 金利のある世界
- 東京オフィス(丸の内永楽ビルディング)

# Offsite Seminar オフサイトセミナー

当社では社員やFAが持つべき理念を決して見失うことがないように、不断の努力で自らを見つめなおしております。その一環として、社会の中で求められるべき我々自身の在り方について定期的な勉強会を開催し互いに啓蒙を行っています。

勉強会の一環として、2023年3月より外部講師をお招きしたオフサイトセミナーを継続的に開催しており、医師・医療経済ジャーナリストとして活動されている森田洋之先生(南日本ヘルスリサーチラボ代表、ひらやまのクリニック院長)にご登壇頂く2025年2月14日で第7回を数えます。



過去のオフサイトセミナーではオルテガの『大衆の反逆』と貴族の精神、保守思想、福沢諭吉の言葉、西郷隆盛と動的宗教、利他の構造、北条泰時と指導者論など、人文科学や思想・哲学の領域に関わるテーマが取り上げられてきました。

テーマによっては馴染みのない分野であるほか、思想・哲学などの専門分野に敷居の高さを感じる方も少なくありませんが、解説記事や動画のアーカイブを制作・公開し、外部に向けた知のアセット共有に取り組んでおります。

第7回オフサイトセミナーの講師をご担当頂く森田先生は財政破綻による病床激減が問題化していた夕張市で医療現場に携わり、森田先生の夕張時代の師にあたる村上智彦さんが実践した「村上スキーム」に基づく夕張の地域医療の再生や、地域コミュニティの特徴などを分析されてきました。

2015年のデータでは日本一の高齢者地域であった夕張市ですが、病床激減後も死亡率に変化はなく、死因についても疾患や肺炎が減少し、老衰が多くなるという変化がありました。森田先生は夕張市民の死生観の変化や高齢者の生活を支える医療・介護体制の構築(病院から在宅医療への変化)、生活を支える「きずな貯金」(「社会関係資本」と訳されることが通例な「ソーシャル・キャピタル」という用語を、改めて日本語に置き換えた森田先生による造語)などを、変化の要因として分析されます。

「きずな貯金」という考え方は、地域コミュニティのみならず組織運営やマネジメントといったビジネス領域にも援用できると考えており、定例勉強会においてもテーマとして「きずな貯金」を取り上げ、個々人の体験に基づく様々な観点から見た「きずな貯金」についての発表を、勉強会の中で行っております。

第7回では思想・哲学が多かったこれまでのオフサイト研修とは異なり、現場経験に基づいた事例分析のみならず、超高齢化時代における地域コミュニティの役割や機能など、身近であり今後直面せざるをえない問題の解決策にも関わってくるとおられます(次号ではセミナーのレポートを掲載予定です)。

# World of Interest Rate 金利のある世界

昨年3月に日銀が17年ぶりの利上げを行って以来、永らく金利とは無縁だった我が国の金融市場にも、「金利のある世界」が戻りつつあります。先月24日の日銀金融政策決定会合でも昨年7月以来の追加利上げを行い、新たな政策金利を0.5%程度としました。

この「金利のある世界」というキーワード、すでに様々な分析がなされており特段目新しいものではありません。またローン等の負担増や実体経済への悪影響といったネガティブな側面もあるのですが、ここではやや楽観かつシンプルに「金利のある世界」ではどのような金融商品があったのかを振り返ってみたいと思います。

時を遡ること幾年月、1990年当時の政策金利は6%でした。時の日銀総裁三重野氏は就任当初からバブル退治のために積極的な金融引き締めを行い「平成の鬼平」と称されたものです。その急速な利上げペースの為、金利の先高観から短期の金利の方が長期よりも高い（いわゆる逆イールド）状態でもありました。

10年国債の表面利率は同年10月にはなんと7.9%に達しています。足元日銀がマイナス金利政策を導入していた期間においては10年国債の表面利率は0.1%、利回りはマイナス0.2%近辺と尋常ならざる水準が常態化していたことを鑑みると隔世の感があります。

また、当時長期信用銀行等から販売されていた5年利付金融債は表面利率8%、さらにそれを預入元本方式にした金融商品である「ワイド」は9.606%の利回りを叩き出しています。

預金者が銀行店頭で長蛇の列をなし、「ワイドフィーバー」として報道されたことをご記憶の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

もちろん、当時と今では金融を取り巻く環境、制度等が大きく異なりますので、今すぐ同様な利回り水準の金融商品が望めるわけではありませんが、故きを温ねて「金利のある世界」での商品選択に想いを巡らすことも一興かと存じます。

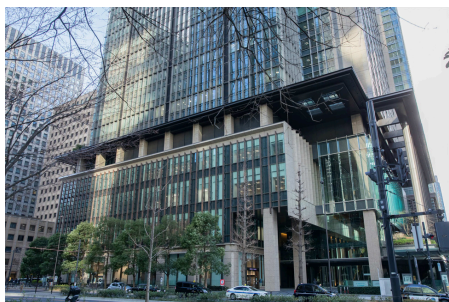


ちなみに、コロナ渦において2020年3月から約2年間ゼロ金利政策を採った米国では、同年8月には10年米国債は0.5%台まで利回り低下したものの、その後の景気急回復と高インフレによって2022年3月にはゼロ金利政策を解除、以降計11回の利上げを行い、現在政策金利は4.5%、10年米国債は利回り4.6%近辺と一早く「金利のある世界」へと舞戻っています。今年はトランプ2.0がスタートし例年以上に先行き予測が困難と言われておりますが、米国金融市場のこのダイナミズムは大きな魅力の1つと言えましょう。

日米ともに「金利のある世界」での債券運用、今後ますます存在感を強めていくのではないのでしょうか。

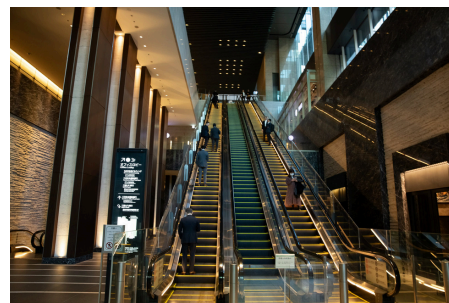
# Tokyo Office 東京オフィス(丸の内永楽ビルディング)

弊社の東京オフィスは丸の内永楽ビルディングの20階に入居しています。東京メトロ東西線の大手町駅に直結、地上からはJR東京駅の丸の内北口駅より徒歩5分の好立地で、地下街を通してアクセスも可能なので悪天候の際にも便利です。



最上階である26階には日中だけでなく夕方・夜帯にも素晴らしい眺望が体験できるオフィス利用者向けの共用ラウンジがあります。ラウンジにはカフェのほかコワーキング用の個室や会議室などもあり、対面でのご相談やお打ち合わせなどはオフィス内会議室のほか26階ラウンジで行わせていただくこともあります。

丸の内といえば(日本初とされる)オフィス街のほか大型商業施設、屋外に芸術作品が展示される「丸の内ストリートギャラリー」の中心地であり、石畳の歩道に街路樹が立ち並ぶほか有名ブランドの路面店が軒を連ねる丸の内仲通りも見所です。平日11-15時と土日の11時-17時は、オープンカフェ用途で中通りの道路が歩行者専用となる「アーバンテラス」が催され、椅子やテーブルが設置されキッチンカーなども出店する洒落た景観を楽しめます。



超高層ビルの立ち並ぶ丸の内エリアですが、永楽ビルは外観・内観ともに周辺のビル群にも引けを取らないハイグレードなインテリジェントビルで、特に3Fロビー直通のエスカレーターや、天井の高いロビーが見所ですので、東京に来られた際には丸の内周辺の散策がてら、永楽ビルのほうにも気軽にお立ち寄りいただければと思います。



5Value Asset Co., Ltd.



5バリューアセット株式会社 金融商品仲介業者 近畿財務局長(金仲)第437号

各商品等にご投資いただく際には商品毎に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。又、各商品等には価格の変動等による損失を生じる恐れがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読みになり内容について十分にご理解ください。

この通信は、当社ホームページに掲載するほか、当社セミナーにご参加いただいた方、業務提携をいただいた方、およびIFA口座をお申し込みいただいた方に送付しております。送付の停止・送付先変更をご希望の場合は、大変お手数ですが下記のメールにご連絡ください。送付の停止・送付先変更には、少々お時間をいただく場合がございます。

発信者: 5バリューアセット株式会社 クライアント・リレーション

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル20F

newsletter@5valueasset.com